

## 実習3 電圧計の使い方

### 目的

### 準備

☐電圧計 ☐スイッチ ☐豆電球 ☐乾電池 ☐導線

### 方法

- ① 乾電池に豆電球とスイッチをつないで回路をつくる。
- ② 次の3点を確認しながら、回路に電圧計をつなぐ。
  - (ア) 電圧計は電圧をはかりたい区間に対して並列につなぐ。
  - (イ) 乾電池の+極側の導線を+端子に、-極側の導線を-端子につなぐ。
  - (ウ) 電圧の大きさが予想できないときは、300Vの-端子につなぐ。
- ③ スイッチを入れ、豆電球が点灯していることを確認して、次の2点を確認しながら電圧計の目盛りを読む。
  - (ア) 指針の振れが小さければ、15V、3Vの-端子につなぐ。
  - (イ) 目盛りを読むときは、つないだ-端子に合った数値を目盛り板の正面から読みとる。

**結果** 電圧をはかる回路のようすや、読みとった電圧の値を記録する。

・回路のようす

・電圧の値

使った-端子	目盛りの読みとり
3V	
15V	
300V	

### 考察

### まとめ